

史学委員会（第26期・第2回）
議事要旨

日 時：令和5年11月3日（金）10：00～12：10

会 場：オンライン開催

出席者：大橋幸泰、小田中直樹、芳賀満、松本直子、吉澤誠一郎

説明者：若尾政希、栗田禎子、福永伸哉、中村征樹、長志珠絵、川島真

議事に先立ち、10月18日に行ったインフォーマルな打ち合わせで提案された、第25期に史学委員会内および他の委員会と合同で設置されていた分科会の責任者（若尾政希、栗田禎子、福永伸哉、中村征樹、長志珠絵、川島真）を含めて史学委員会で打ち合わせを行うという方針について承認し、それに基づいて今回の委員会を開催することとなった。

議事概要：

（1）前回議事要旨の確認

前回議事要旨を確認した。

（2）第26期の分科会編成について

分科会の編成について、前期までと異なる点について委員長より説明があり、俯瞰的であるか、分野横断的であるか、単独の学協会では代替できないか、という点が重用であるという認識を共有した。

第25期の各分科会の責任者からの意見を聞き、これまでの活動実績を確認したところ、いずれの分科会も提言や見解の発出、シンポジウムの開催など活発に活動していること、またいずれも分野横断的な構成となっており、単独の学協会に対応するものではないことから、継続することが望ましいとの判断に至った。

基本的には第25期の枠組みを維持しつつ、領域の重なりや論点の明確化について再検討したうえで提案書を作成することとなった。設置提案書作成者（大橋「中高大歴史教育に関する分科会」、芳賀「博物館・美術館等の組織運営に関する分科会」、中村「科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会」、川島「アジア研究・対アジア関係に関する分科会」、松本「文化財の保護と活用に関する分科会」、若尾「歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会」、栗田「歴史認識・歴史教育に関する分科会」、長「歴史学とジェンダーに関する分科会」）は、11月14日（火）までに提案書を作成し、大橋委員長に提出することとなった。また、分科会の名前については11月11日（土）までに委員長に提出し、必要であればメール等で調整することとした。

（3）その他

特になし

以上